



# 北海道日本ハムファイターズ 誕生10シーズン目!



2004年に北海道日本ハムファイターズが札幌ドームに誕生してから今年で10シーズン目！誕生から今まで、「地域密着」という目標を掲げてさまざまな活動をしてきました。今では地元野球チームとして、豊平区はもちろん全道で大人気のファイターズ。どんなふうに関わりと一体になっているのかご紹介します。

ファイターズ東京時代、関東には6球団があり、ファイターズは成績でも人気でも苦戦していました。そこで地域社会の一員として地域と共生していく「地域密着」に向けて舵を切るようになったんです。本拠地候補は他にもありましたが、北海道という土地と日本ハム(株)の縁が深いこと、札幌ドームからのオフアワーがあったことなどから、北海道日本ハムファイターズが誕生しました。

当時の北海道は生のプロ野球観戦になじみがない方がほとんどの上、ジャイアンツファンが大半。選手のサイン会やトークショーにも全く人が集まらなかったんですよ。

そこからさまざまな活動を続けてきました。小学校訪問や野球教室。B・Bが市町村を訪問・紹介する「212物語」。今年からは「10thシーズンキャラバン」「北海道179市町村応援大使」を始めました。今では全道どこでも温かく受け入れていただいています。

地域密着という目標にゴールはありません。ファイターズが地域に在ることと人たちが元気になる、そんなチームになれるようさらに頑張っていきます。豊平区の皆さんはせっかくなので、近所なので、試合の応援だけでなく、各種イベントや花火大会もぜひ楽しんでいただきたいと思いますね。

## 「地域密着」 地域と一体になれる 球団を目指して



北海道日本ハムファイターズ 事業統轄本部 副本部長 山口 伸吾さん